

彙報

東洋文庫におけるチベット研究について

一九五九年三月ラサに不幸な事件が発生してから、タライラマ十四世はじめ數萬のチベット人がヒマラヤの山々を越えてインド、シッキム、ネパールに逃れ、今日でもその跡を絶たない。ロックフェラー財團は一九五九年末、それら亡命チベット人の生活を援助し、兼ねてチベット研究を推進させるため、亡命チベット人の中から有能な學者を選んで各國のチベット研究機關に三年間派遣することを計畫した。それによつてすでにこの計畫の中心となるシヤトルのワシントン大學極東・ロシア研究所 (Far Eastern and Russian Institute) に十數名、イタリアの G. Tucci, L. Petech 教授、フランスの A. Stein 教授、ドイツの H. Hoffman 教授などのもとにそれぞれ二名ないし四名のチベット人學者あるいはその家族が送られた。また、近くイギリスの D. Snellgrove 教授のもとに五名、オランダの J. W. de Jong 教授のもとに三名が送られることになつてゐる。選ばれたチベット人は、各機關の研究目的に従ひラマ教新、舊各派の學僧、ボン教者、畫家なども含まれ、出身地も様々であり、各機關がどのように彼らを新しい環境に受け入れ、その協力によつてどのように研究を進めるかが注目される。チベットにとつて不幸な事件がその

契機になつたことはきわめて遺憾であるが、チベット人を自分の國に招いて研究を共にすることは、チベット研究のいろいろの分野で現地調査の必要性が痛感され、なおかつそれがほとんど不可能な現在では、われわれにとつて大きな魅力といわなければならぬ。

東洋文庫チベット研究室も多田等觀師を長としてこの計畫に参加することになり、本年二月から三ヶ月間、多田等觀師、北村がインドに滞在、人選に當つた結果、次の三名を日本に招聘することに決定した。

A ツェリン・ドルマ Tsering Dorma (tshering droi-ma): 一九三五年ラサ生れ、ラサ貴族夫人。

B ソナム・ギャムツォ Sonam Gyamtso (bsod-nams rgyantsho): 一九三三年ラサ生れ、ツァン (gtsang) のサキヤ (sa-skya) 派ユル (ngor) 寺坐牀活佛。

C ケツン・サンホ Khetun Sangbo (mkhas-ptsun bzang-po): 一九二二年ヤクテ (gyag-sde) (カマ (dbus) ・ツァン境界) 生れ、ニンマ (nying-ma) 派學僧。

これら三名のチベット人は三年間ロックフェラー財團の補助金により日本に滞在し、われわれの研究に協力するが、主な研究目的は次のようである。

I 現代チベット語辭典の編集 (擔當: 北村) : 上記三名の言語は出身地、出身階級等により多少の相違があるが、いわゆる中央チベット方言に屬する。主としてツェリン・ドルマをインフ

オーマントとし、そのラサ語の構造を明かにし、他の二名の協力を得つつ簡易な百科事典を兼ねる現代中央チベット語方言辭典を編集する。

II. ラマ教新、舊兩派の比較研究(擔當…多田)…新派については故河口慧海師、多田等觀師などにより重要な文献の多くが將來され、日本の學界にもかなりよく知られているが、舊派については文献も少く、不明の點が多い。ニンマ派の活佛であり、すぐれた學者であるドゥジヨム(bud-hjoms)の高弟ケツン・サンポ及びサキヤ派のソナム・ギャムツォの協力と彼らが將來する文献により新、舊兩派の教理、僧團組織などについての比較研究が可能になつた。

III. 古代・中世チベット史の重要文献の研究(擔當…金子良太)…上記ソナム・ギャムツォはグライラマ十四世の命によりドゥジヨム活佛が新たにチベット史を編集した際、助手を勤め、史的文献に精通している。ソナム・ギャムツォ及びケツン・サン

ポの協力により、古代・中世チベット史の重要史料である「チブテル・マルポ」(deb-ther dmar-po)、「バシエ」(shabzed)、土觀ラマの「ドゥムタ」(grub-mthah)などのテキストの出版とその譯註を作成する。

以上のほか、進行中の東洋文庫藏外チベット文献の目録作成に二名の學僧の協力を求め、また彼らによるチベット語講座の開設などを計畫している。

三名のチベット人はすでに六月九日來日、現在、新しい環境に一日も早く慣れるべくわれわれと起居を共にし、われわれもまたチベット語によるチベット語研究の第一段階として、彼らとの日常生活の間にチベット語口語を習得すべく努力している。彼らの日本滞在が日本のチベット學界に有意義なものであるばかりでなく、彼らがチベット人社會に復歸したときチベット人に役立つような經驗と知識を日本において獲得できるよう念願してやまない。(北村甫)